

# 平成23年度

# まちの公所事情

町民のみなさんから納めていただいた税金などが、どのように使われ町の財政が運営されているか、平成23年度決算の概要をお知らせいたします。

## 収入は、前年度から2.7%減少

平成23年度の決算は、6会計全体の収入で79億4722万円、支出では76億1488万円となりました。前年度と比べて、収入は2億1647万円(2.7%)の減、支出は、1億7971万円(2.3%)の減となりました。(表1)

翌年度に繰り越して使う財源を除いた実質収支は、3億2170万円の黒字となりました。このうち一般会計は、

2億6405万円の黒字決算となりました。

## 一般会計【収入】 地方交付税は増加、国庫支出金は減少

国から交付される地方交付税交付金は29億246万円で、一般会計の収入全体の47.0%(図2)を占めています。前年度比較で1398万円(0.5%)の増額となりました。

町税は6億7533万円で、1122万円(1.7%)増額となりました。

国庫支出金は3億7719万円で、大型の国庫事業の完了に伴い、1億8063万円(32.4%)減少しました。

町の借金である町債は

6億4297万円で、農業関係事業の実施に伴う借入が増えたことなどにより、1億6508万円(34.5%)増額となりました。

収入全体では、町税や使用料及び手数料といった自主財源よりも、地方交付税に依存する割合が大幅に大きくなりました。

## 一般会計【支出】

議会費では、議会をインターネット中継するため、議場等音響設備更新及び議会中継システム導入事業を実施しました。

総務費では、開町80周年の節目を祝う開町80周年記念事業を実施し、また、継続して総務省事業を活用し、都市部などから人材を求め、様々な分野において地域振興を図るため推進員を配置し活動しました。さらに平成23年7月の地上デジタル放送の移行に伴い、電波受信が不安定な地区(主に市街地東側一部)に向けて、安定的な電波受信ができるように、地上デジタル無線共聴施設設置事業を実施しました。

民生費では、保育所の芝生の造成工事を実施しました。また、身障手帳の交付対象となら

■表1 平成23年度決算総括表

会計	区分	平成23年度	平成22年度	増減率
一般会計	歳入	61億8250万5千円	62億6410万1千円	△4.4%
	歳出	59億780万9千円	61億6857万4千円	△4.2%
国保会計	歳入	7億5084万6千円	7億5860万1千円	△1.0%
	歳出	7億745万6千円	7億1585万9千円	△1.2%
水道会計	歳入	2億4408万9千円	1億6023万6千円	52.3%
	歳出	2億3903万0千円	1億5552万7千円	53.7%
老人保健会計	歳入	0万0千円	2011万4千円	皆減
	歳出	0万0千円	2011万4千円	皆減
後期高齢者医療会計	歳入	7582万2千円	7379万5千円	2.7%
	歳出	7366万9千円	7174万9千円	2.7%
下水道会計	歳入	2億2259万9千円	2億3729万3千円	△6.2%
	歳出	2億2216万2千円	2億3228万6千円	△4.4%
介護保険会計	歳入	4億7136万2千円	4億4955万6千円	4.9%
	歳出	4億6475万2千円	4億3047万7千円	8.0%
総計	歳入	79億4722万3千円	81億6369万6千円	△2.7%
	歳出	76億1487万8千円	77億9458万6千円	△2.3%

ない軽度難聴児に対し、補聴器の購入または修理に要する経費の一部を助成する事業を実施しました。

衛生費では、継続して、壮年期からの健診受診率の向上と生活習慣病の改善を図るため、40歳健康づくりスタート事業を実施しました。

農林水産業費では、黒毛和牛ブランド化肥育促進事業や複数の農道緊急整備事業を実施しました。

商工費では、経済の活性化と定住促進を図るため、住宅エコポイント事業に対し補助を実施しました。また、道東道の開通

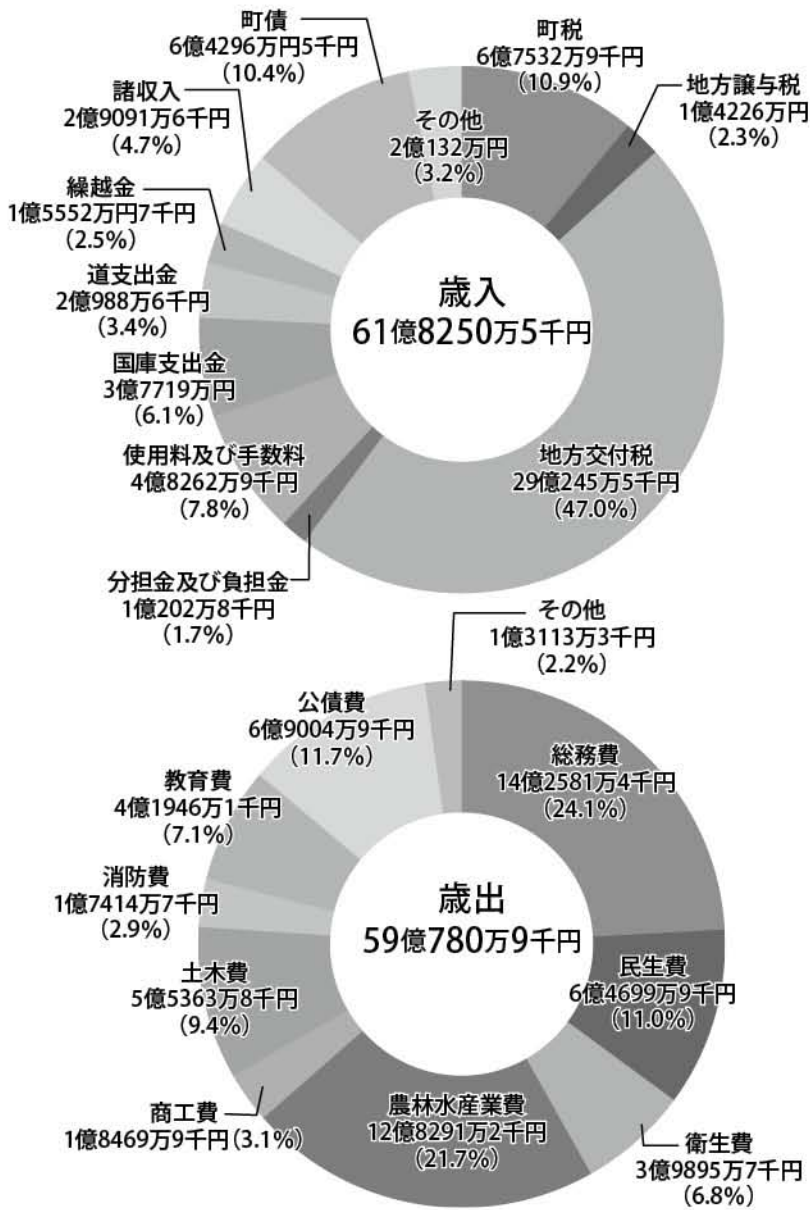
にあわせ、本町の観光資源の魅力を発信する、魅力発信キャンペーン事業を実施しました。

土木費では、例年同様、町道及び公共施設の除排雪を企業体に委託し、良好な交通の確保に努めました。また、除雪ダンブが購入後20年経過し著しく老朽化が進んだことから、除雪専用車へ更新しました。

教育費では、継続して、魅力ある学校づくりに取り組む上土幌高等学校振興会に補助を実施しました。また、上土幌小学校カーテン等取替事業や、校舎の屋上躯体部の修繕工事を実施しました。

た。

■図2 平成23年度一般会計収支の内訳



**特別会計**

特別会計は、国民健康保険・水道・後期高齢者・下水道・介護保険の5事業で、決算状況は決算総括表(表1)のとおりとなります。

このうち水道事業については、安定した給水に向け、上土幌地区井戸掘削工事、東部地区第2取水ポンプ場築造工事などを実施しました。

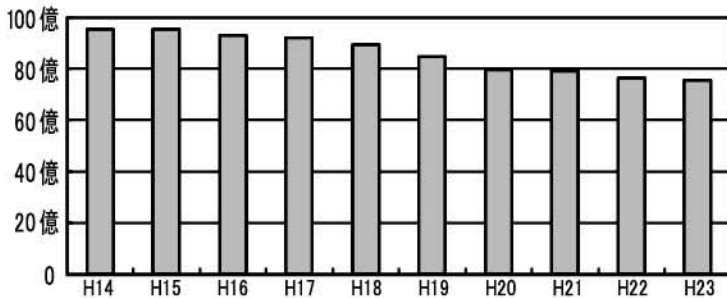
**借入金総額約76億円  
借入金残高は年々減少**

町が公共施設の建設や道路・下水道などの整備のため、国などから借りている借入金の平成23年度末現在高は、75億5216万円と前年比92.32万円の減となり(図3)、新たな借入金を極力抑制していることから、借金残高総額が減少しました。

**貯金総額約50億円**

将来の町づくりのために積み立てている積立金の残高は17基金合計で49億9939万円となつていきます(表4)。このうち社会福祉など特定の目的のための基金を除く、災害復旧や公共施設整備のための基金(財政調整基金・公共施設整備基金)は、28億8190万円と前年比5億5981万円増加しました。

■図3 平成23年度末町債(借入金)現在高の推移



※お問い合わせは、企画財政課財政担当(内線261)佐々木・梶まで

**※平成23年度に** ( )内は前年  
 町民1人あたりに使ったお金 **148万6千円** (150万7千円)  
 町民1人あたりの町税負担額 **13万2千円** (12万8千円)  
 ※計算基礎人口 5,125人(平成24年3月末現在)

■表4 平成23年度末基金(積立金)現在高の状況

基金の名称	平成23年度末現在高	基金設置の目的
財政調整基金	12億8420万9千円	災害や一時的な財源不足等の場合のための財源
減債基金	9億1635万6千円	町の借入金の返済財源
公共施設整備基金	15億9769万3千円	将来の公共施設の整備費用のための財源
土幌線代替輸送確保基金	2億7212万4千円	旧土幌線の代替バスの赤字補てん・購入補助、交通公園等管理経費等
旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋保存基金	2億9138万5千円	旧国鉄土幌線アーチ橋の保存対策及び解体撤去の際の財源
学校教育施設建設基金	1億82万2千円	学校教育施設の建設費用のための財源
社会福祉基金	1億5541万4千円	援護を要する高齢者及び重度障害者等の福祉対策のための財源
土地開発基金	1億723万7千円	将来の公共施設用地の取得基金
その他(9基金)	2億7414万6千円	
合計	49億9938万6千円	